



KAGOSHIMA

Y'S MEN'S CLUB

25th ANNIVERSARY

鹿児島 2015
ワイズメンズクラブ

No. 306

12月号

国際会長 : Wichian Boonmapajor [タ イ] "Mission with Faith" 「信念のあるミッション(使命・目標)」

アジア会長 : Edward K.W. Ong [シンガポール] "Through Love, Serve" 「愛をもって奉仕をしよう」

西日本区理事 : 遠藤通寛 [大阪泉州北] "You can do it! Yes, you can!" 「あなたならできる! きっとできる!」

九州部長 : 五嶋義行 [阿蘇] 「九州から輝くワイズダム」

鹿児島クラブ会長 園屋 高志『一人一人が自分にできることで、クラブやYMCAの活動に貢献しよう!』

和歌山クラブ例会訪問報告

私は去る11月19日に和歌山クラブの例会を訪問しました。和歌山市は私の娘が家族で住んでおり、年に数回は訪れているという縁があります。また、今年の3月に大阪で会長研修会の際、昼食時にたまたま和歌山クラブの守田諒介会長と席が向かい合い、お話をしました。これも偶然ですが、このご縁は大切にして、和歌山クラブの例会に一度は訪問させていただこうと考え、今般実現させたという次第です。(写真の私の隣で中央に座っている方が守田会長です)

和歌山クラブは1949年創立という大変伝統のあるクラブで、7年前には和歌山クラブの神谷尚孝ワイズが西日本区事を務めておられました。その時が西日本区大会(奈良市で開催)に初めて参加した時ですので、大会がとても印象に残っています。

和歌山クラブの例会は、和歌山駅近くの和歌山YMCAで行われました。例会には会員だけではなく、ユースリーダーや留学生が数多く参加していました。留学生は毎回数名招待され、日本語の練習を兼ねて自己紹介などを行っているとのことです。若い方々がおられると、例会の雰囲気がすいぶん変わり、こちらまで元気が出るような感じがしました。

今回はTOF例会で(年に2回)、おにぎりとメネットさん特製の豚汁をいただきました。ゲストスピーチは岸田昌章氏(橋本コンディショニング・コーディネーションクラブ理事長)による「スポーツボランティア~私の活動から~」というお話で、主にスペシャルオリンピックス(SO)でのボランティア活動に関わるものでした。和歌山クラブのメンバーもSOを支援しているとのこと、SOを知らなかつた私にはとても有意義な内容でした。

和歌山クラブはいつも最初に30分で食事をとり、その後に開会点錠して例会をするということなど、進行の仕方、内容はクラブによってそれぞれ個性があるのだと改めて感じました。これからも他クラブを訪問して、親睦を深めながらいろいろと学んでいきたいと思った次第です。

(鹿児島ワイズメンズクラブ:園屋 高志)



TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT

「一人一人が自分にできることで、クラブやYMCAの活動に貢献しよう！」

今年も12月クリスマス例会を行う時期になり、1年の速さを感じます。

去る11月21日には、鹿児島YMCA主催のチャリティランがありました。お手伝いくださったワイズメン、メネットの皆様ありがとうございます。今年は過去最高のチーム数、出場者数だったということで、関心が年々増えていくことを嬉しく思いました。

そのチャリティランに今年初めて、ワイズメンズクラブの九州部が参加して支援してくださいました。熊本から次期九州部長の宮崎隆二ワイズはじめ7人の方々が参加され、九州部とひがしクラブの2チームが出場されました。改めてご支援に感謝いたします。

さて、11月23日に、例会とは別に「鹿児島クラブの今後の活動についての話し合い」を、鹿児島YMCA事務所で行いました。参加者は9名でしたが、3時間近く熱心に語り合いました。その内容を簡単にまとめてご紹介します。

話し合いの目的は、クラブの活動の活性化と会員増加の方策、および今後のファンドについて、意見を交換することでした。クラブの継続的な活動を今後どうするかということについては、「先に継続的な奉仕活動を考えて実行することを決め、それをPRして、会員を勧誘する。」という考え方と、「まずとにかく、各会員が周りの人を勧誘して、人数を増やし、それから継続的な活動をしていく。」という考え方の二つに分かれました。

このどちらが正解というわけではありませんが、いずれにしても、まずPR用のパンフレットを作ることが急ぎの課題であり、その担当者を5名決めて作業にとりかかることになりました。また、来年4月17日に開催予定の、YMCAチアダンス発表会において、参加者（主に保護者とその関係者）を対象にしてワイズメンズクラブをPRすることも決まっています。今後その具体的な内容を決める必要があります。

ファンドについては、種々の案が検討され、「竹/パルプ素材を使ったメモ帳など」を試売することになりました。以上のことは引き続きの課題ですので、今後、例会等を通して話し合っていきたいと思います。

今年1年の皆様のご理解、ご奉仕、ご協力に感謝いたします。来年もどうぞよろしくお願ひいたします。来年が皆様にとって、さらに世の中全体にとって、よい1年であることをお祈りいたします。

福岡中央・北九州2クラブ合同例会訪問報告

11月19日木曜日に、福岡中央・北九州2クラブ合同例会に行って参りました。今回は北九州クラブが担当ということで、会場は小倉駅から車で10分ぐらいの場所にあります「ザ・ベルクラシック小倉」結婚式会場で例会が開催されました。

この例会には、北九州クラブと川越クラブがDBCクラブでもある関係で、川越クラブより次期東日本区理事の利根川恵子氏がご出席。九州部からも、次期西日本区理事の岩本悟氏、九州部部長の五嶋義行氏、次期西日本区メネット事業主任の亀浦尚子氏と各クラブから多数のメンバーが集まりました。

まず、福岡中央クラブの草場会長の開会点鐘でスタートしました。ゲストの紹介のあと、利根川恵子次期理事が「ワイズメンズクラブとロールバック・マラリア」と題して講演がありました。パワーポイントを使いながら、現在の状況、今後の目標などのお話を頂きました。まだまだやるべきものがあると痛感致しました。

次に食前感謝のあと、九州部の五嶋部長の乾杯で懇親会へ。会食しながらではありましたが、両クラブより諸報告。そして今回出席された全メンバーの皆さんに登壇していただき、各自PRタイムに突入。私も9月に鹿児島クラブの例会で卓話をして頂きました、坂本地域奉仕・環境事業主査にお礼と本年度九州部の事業主査としての立場でYサ・ユース事業について報告、連絡事項を述べさせて頂きました。非常に楽しい有意義な懇親会でしたが、ここからが大変でした。北九州と言えば、「炭坑節」。全員で3回も踊りました。さすがに疲れました。そのままの勢いで、みんなで「里の秋」を熱唱。最後は、北九州クラブの松田会長の閉会点鐘でお開きでした。

素敵な場所で、料理も非常に美味しく、短い時間ではございましたがたくさんの方々と交流することができました。両会長をはじめ、メンバーの皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

(鹿児島ワイズメンズクラブ:松永 英明)



[北九州クラブの皆様]



[次期東日本区理事:利根川 恵子氏]



[福岡中央クラブの皆様]



クリスマスの思い出



高校生の頃、クリスマスイブの夜は唯一、門限を守らなくていい、日付が変わってからの帰宅が許される日でした。青年会（大学生や社会人）のお兄さんお姉さんたちと一緒に教会の方たちの家を、ローソクをもってクリスマスの讃美歌（キャロル）を歌って回るキャロリングの夜。今、若い方たちは車に分乗してペンライトをもって回っていますが、私のキャロリングデビューの頃はろくなところをもって歩いて回っていました。ワクワクして、嬉しくて、楽しくて、デビューしたての高校生同士であしゃべりしていると、大学生のお兄さんに『静かに。』と叱られたものでした。目的の家が近づくと、気持ちを引き締め、讃美歌を開き、ローソクに火をつけてもらって、小さな声で歌いはじめます。玄関につくころはその家の方も出てこられて一緒に高らかにキャロルを歌い、メリークリスマス！と挨拶をして喜びを分かち合います。

そんなクリスマスイブのキャロリングは、青年会のお兄さんお姉さんに混ざって背伸びして会話に加わり、夜中の町を歩く、ちょっと大人な気分を味わう事の出来た夜でした。

高校生の頃の短い期間の思い出ですが、大人になって久しい今、暖かくやさしい思い出として残っています。

鹿児島ワイズメンズクラブ：山口 真弓

振り返ってみて思い出されるのは、子どもの頃のクリスマスケーキです。今のように市販のものが簡単に入手できる時代ではなかったので、母が手作りしていました。台になるカステラを作る際に、中を丸く開けて焼くような型があり、それを近所の家に持つて行って焼いたのを覚えています。おそらく焼く道具がその家にあったからでしょう。今は生クリームが多いですが、当時はバタークリームでした。その味よりも、中の空いた型で焼いたというこの方が、未だに鮮明な記憶として残っているのは不思議な感がします。

鹿児島ワイズメンズクラブ：園屋 高志

日本でクリスマスプレゼントが行われるようになったのは、いつといいつつの頃からなのでしょうか。

ひょっとしてザビエルの時代には、すでに鹿児島で行われていたのかもしれませんね。

明治時代にはキリスト教関係者を中心に、貧しい人々にプレゼントを配る運動が大々的に行われたという記録がありますし、大正時代にはこの習慣は普通の人々の間にもかなり普及していたといわれます。しかし軍国主義に向かった昭和の初期からは、次第に影を潜め、街から姿を消していったものと思われます。

私は1941年11月15日にこの世に誕生しました。一ヵ月しないうちに太平洋戦争が始まり、物心ついたころには、戦後の廃墟と混乱と、極端な物不足の時代になっていました。食べるものも、着るものもなく、世の中はクリスマスどころではありませんでした。

幼稚園には、下駄が裸足で通いました。雨が降ったりすると、よく鼻緒が切れました。

小学生になってようやく前ゴムの白のズック靴を買ってもらいました。

朝鮮戦争のころから、日本の経済もようやく持ち直して、世の中に活気が出てきました。クリスマスプレゼントが盛んになってきたのは、おそらくそのころからだろうと思います。進駐軍によってたらされたアメリカ文化の影響もあったのかかもしれません。

小学4年生のクリスマスに、私は初めて野球のグローブをプレゼントしてもらいました。

枕元から漂う革のにおいがうれしくて、夜中に何度も起きて、手で触り、抱きしめ、そのにおいをかぎました。天にも昇るようなとても幸せな気持ちでした。

今でも、革靴や、革のベルトを買ってきて、皮のにおいがすると、その時のことを思い出して、しばしの間、とても幸せな気分にひたっています。

鹿児島ワイズメンズクラブ：中松 賢夫

昭和22～23年頃、両親がクリスチヤンであったことから、近所にあった教会にいかされていた。クリスマスには教会からクリスマスプレゼントとしてお菓子をもらった。その当時は満州から引き揚げてきたばかりで、貧しくてお菓子など買ってもらえないかったことからよほど嬉しかったのである。今でもお菓子をもらったことが、強く思い出として残っている。

鹿児島ワイズメンズクラブ：徳田 稔

実は、子供の頃からケーキを食べ、プレゼントも貰ってはいましたが、家族でクリスマスパーティーをした記憶がありません。今になって自分が親父の跡を継いでわかりましたが、この時期はとにかく忙しく、今みたいにデジタルでなくアナログの時代でしたので、大変だったと思います。その分、プレゼントはリクエスト通り妥協せずに買って貰っていました。

社会人になってからも、やっぱりクリスマスはいい思い出もなく夜遅くまで仕事をしていた記憶しかございません。その分、今楽しんでいます。

鹿児島ワイズメンズクラブ：松永 英明





MERRY
CHRISTMAS!

もうびとこぞいこ

諸人(もうびと)こぞりて 迎えまつれ
久しく待ちにし 主は来ませり
主は来ませり 主は、主は来ませり

悪魔のひとやを 打ち碎きて
捕虜(とりこ)を放つと 主は来ませり
主は来ませり 主は、主は来ませり

この世の闇路を 照らし給う
妙(たえ)なる光の 主は来ませり
主は来ませり 主は、主は来ませり

しぶめる心の 花を咲かせ
恵みの露おく 主は来ませり
主は来ませり 主は、主は来ませり

平和の君なる 御子を迎
救いの主とぞ ほめたたえよ
ほめたたえよ ほめ[▲]ほめたたえよ

きよしこのよる

きよしこのよる 星はひかり、
すくいのみ子は まぶねの中に
ねむりたもう、いとやすく。

きよしこのよる み告げうけし
まきびとたちは み子のみ前に
ぬかずきぬ、かしこみて。

きよしこのよる み子の笑みに、
めぐみの み代(みよ)の
あしたのひかり
かがやけり、ほがらかに。





今月の花 モミ(松)

・マツ科モミ属
・本州、四国、九州、屋久島に分布モミの名は、風にもみ合うところから「揉む」を語源とする説や神聖な木で、信仰の対象となっていたことから「臣木（おみのき）」を語源とする説などがある。クリスマスツリーに使われているモミの木の種類には、シルバーモミ（Silver Fir）ノルマンモミ（Nordmann Fir）ノーブルモミ（Noble Fir）ダグラスモミ（Douglas Fir）バルサムモミ（Balsam Fir）フレイザーモミ（Fraser Fir）グランドモミ（Grand Fir）グアテマラモミ（Guatemalan Fir）レッドモミ（Red Fir）日本人には以外に聞こえるが、モミの木以外に松もよく使われるようだ。スコットランド松（Scots Pine）ストーン松（Stone Pine）スイス松（Swiss Pine）ジェフリー松（Jeffrey Pine）ピニヨン松（Pinyon Pine）ノーオークアイランド松（Norfolk Island Pine）更に、モミや松以外にも、トウヒという種類の木がある。

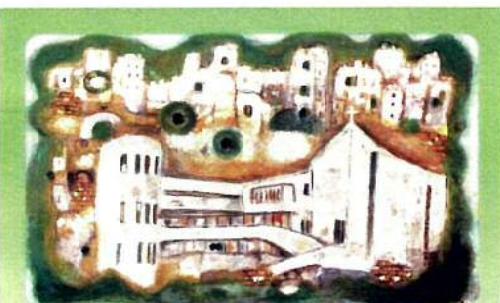
実は、ノルウェートウヒ（Norway Spruce 別名ドイツトウヒ）は、安価な為、現在では最も流通しているクリスマスツリーであるらしい。クリスマスツリーで使う幼木では、モミと区別つかないんだとか。さて、クリスマスツリーに使われる樹木には、主に、これらモミ、松、そしてトウヒと3種類ですが、これらには、共通点がある。それは…、常緑針葉樹ということである。針葉樹には、常緑性と落葉性があり、常緑性は、その名の通り長い期間緑を保ち、落葉樹の様に冬になると葉が落ちてしまうということがない。

クリスマスは、キリストの生誕（降誕）を祝うお祭り…

クリスマスツリーにも何か宗教的な意味合いがあるのかというと、色んな説があつてはっきりとはしていないようだ。しかし、一説では、アダムとイブに登場する知恵の樹（りんごの木）の象徴として使われているというもの。本物のりんごの木を用意するのは大変だし、冬には葉も落としてしまうために、冬でも緑の葉を残す常緑針葉樹が自然と選ばれていったというもの。クリスマスツリーに飾るオーナメントには、丸いボールの形をしたものがあるが、あれは元々は、アダムとイブが食べてしまった禁断の果（りんご）を象徴しているらしい。



ご案内



地上には愛と平和 2015 クリスマス

鹿児島加治屋町教会

クリスマス礼拝 12月20日(日)10:30

説教「地上には愛と平和」 松本敏之牧師

キャンドルサーヴィス 12月24日(木)19:00

(開場18:30)

メッセージ「地上に平和」 松本敏之牧師

クリスマスは教会で！どなたでも おいでください

クリスマスイブの夜、

パフォルマンスと讃美歌つつまれ、

クリスマスのメッセージを

聞いてみませんか？

日本キリスト教団 鹿児島加治屋町教会 国際基督教連盟
鹿児島市加治屋町5-6 TEL 099-223-7281
URL <http://kyakuretsu.org/>



献金有難う
もしやげもす。

**11月 合計金額
¥4,000**



医学書よりも興味深いお話を笑いの効果、呼吸（活性酸素）若々しい表情の中味のあるドクターの卓話は沢山の一般民衆にも聴いて欲しい貴重な話であった。

樋脇ワイズ

今夜は小田代先生の興味深いお話をうかがうことができ、感謝でした。これからのワイズメンズクラブも笑顔の満ちた楽しいクラブとなって皆心も体も健康でいられますように。

山口ワイズ

小田代先生、気力と体力についての「有益なお話」をありがとうございました。残された人生を大切に元気に過ごせるよう、私も頑張りたいと思います。

クリスマス例会が楽しくできますように。準備に当たられる委員の皆様ありがとうございます。

中松ワイズ

小田代先生の目からウロコの話、「笑い」ました。ありがとうございました。

中堀ワイズ

小田代先生ためになる話ありがとうございました。認知症になる原因がよくわかりました。

徳田ワイズ

小田代先生、お話ありがとうございました。とても楽しく自分にひびく内容でした。

園屋ワイズ

今日はゲストに小田代病院知覧クリニック分院院長の小田代先生をお迎えして「今 生きる」気力と体力 の卓話を聞きし自分の生き立ちや医学的なお話を等いろんな面から人生を考える機会になりました。

園屋メネット



定例会

12月



日 時 平成27年12月8日 火曜日
 会 場 ジェイドガーデンパレス
 司 会 山口ワイズ・山下ワイズ
 書 記 松永ワイズ

- | | |
|--------------|-----------|
| 1 開会点鐘 | 園 屋 会 長 |
| 2 ワイズソング | 全 員 |
| 3 会長挨拶 | 園 屋 会 長 |
| 4 クリスマスマッセージ | |
| ①牧師紹介 | |
| ②クリスマスマッセージ | 松 本 敏 之 氏 |
| ③もろびとこぞりて斎唱 | 全 員 |
| 5 食前感謝 | |
| 6 クリスマス会 | |
| ①会食 | |
| ②ゲスト紹介 | |
| ③諸報告 | |
| ④アトラクション | |
| 7 きよしこの夜斎唱 | 全 員 |
| 8 YMCAソング | 全 員 |
| 9 なごりはつきねど | 全 員 |
| 10 閉会点鐘 | 園 屋 会 長 |

今月の聖句

「その地方で羊飼いたちが野宿をしながら、夜通し羊の群れの番をしていた。すると、主の天使が近づき、主の栄光が周りを照らしたので、彼らは非常に恐れた。天使は言った。「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。あなたがたは、布にくるまって飼い葉桶の中に寝ている乳飲み子を見つけるであろう。これがあなたがたへのしるしである。」

(ルカによる福音書 2章11~12)

定例会 報告

11月

日 時：平成 27 年 11 月 24 日 火曜日
 19:00~21:00
 場 所：ジェイドガーデンパレス
 出席者：13 名
 司会者：中松ワイズ

11月例会の記録

クラブ在籍者	13名
出席者	11名
ネット	1名
ゲスト	1名
ビジター	0名
マイアップ	0名
11月出席率	84.6%

行事予定 1月

鹿児島クラブ 1月企画例会

日 時：1月 12 日火曜日
 19:00~21:00
 場 所：珈琲館かみむら

鹿児島クラブ 1月定例会

日 時：1月 26 日火曜日
 19:00~21:00
 場 所：ジェイドガーデンパレス

鹿児島ワイズメンズクラブ

〈チャータ〉 1990年2月12日

〈事務所〉 〒890-0056 鹿児島県鹿児島市下荒田3丁目43-7 1F 鹿児島YMCA内

〈定例会〉 毎月第4火曜日 場所：ジェイドガーデンパレス

〈企画例会〉 毎月第2火曜日 場所：珈琲館かみむら（時間は企画例会・定例会とも19:00~21:00まで）